

1月 給食だより



令和8年1月
津幡中学校長 池島 隆久
栄養教諭 田路 優希

あけましておめでとうございます。
給食室では、子どもたちの健やかな心と体を育むために、今年も安全でおいしい給食をお届けできるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



学校給食は、明治22年に山形県の小学校でお弁当をもってこれない子ども達に食事を提供したことが始まりです。途中、戦争のため、給食はありませんでしたが、外国からの援助で昭和21年12月24日に再び始まったのを記念して、12月24日を『学校給食記念日』としました。昭和25年度からは、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を『全国学校給食週間』とすることが定められました。



明治22年
(1889年)

日本で最初といわれる給食



山形県鶴岡町(現在は鶴岡市)の大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で用意した昼食が、学校給食の始まりとされています。



昭和22年
(1947年)

戦後に再開した給食



戦後、食料不足で栄養が足りない日本の子どもたちのために、アメリカからの援助で給食が再開されました。



昭和38年
(1963年)

牛乳が登場した頃の給食



この頃から脱脂粉乳が牛乳にかわり始め、昭和39年には1年を通じて牛乳が提供されるようになりました。

昭和52年
(1977年)

ごはんが登場した頃の給食



昭和51年には米飯給食が始まり、主食はパンではなく、ごはんも出されるようになりました。

時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も、子どもたちを大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じながら、おいしくいただきますしょう。



★昭和29年(1954年)に「学校給食法」が成立し、学校給食の実施体制が法的に整い、教育活動として位置づけられるようになりました。

★平成20年(2008年)には、学校における食育の推進を図る観点から「学校給食法」が大幅に改正されました(2009年4月1日施行)。



冬にも飲もう!!牛乳!



冬は、気温が低くなるため、牛乳の摂取量が減少します。特に年末年始は冬休みで給食がなくなることや、家庭で牛乳を飲む機会が少なくなりがちです。しかし、牛乳のもとになる生乳は、母牛からしぼるので、簡単には生産量を減らすことができません。

牛乳は、骨や歯のおもな構成成分であるカルシウムを多く含んでいます。カルシウムは日本人の多くの人が不足しており、意識してとる必要があります。牛乳を温めて飲んだり、料理に使ったりして、しっかりとるようにしましょう。

